

# ぼくのスーパーひいばあちゃん

大阪府 大阪市立城北小学校 四年

三好 維善

「ええ顔や！イケメンやで！」

ぼくが生まれた時、ひいばあちゃんは産後直後のお母さんに言ったらしい。ぼくは、生まれてすぐに二日間保育器に入っていたため、お母さんと対面できなかった。保育器に入っているぼくをまごごしに見て、ひいばあちゃんが満面の笑みで言っていたとお母さんから聞いた。

ぼくは、ひいばあちゃんにとつて、初めてのひ孫だ。孫とひ孫：・・・ばあちゃんとひいばあちゃん・・・？保育園の時、友達に、

「ひいばあちゃんがなー」

と言うと、

「ひいばあちゃん？何それ？」

と言われる。うーん・・・ひいばあちゃんはこの家に居るわけでもないらしい。

「いたるは、二人のおばあちゃんがおるからすごいねんで。」とお母さんは言ってくれた。スーパーマンみたいなものか？ヒーローかな？

そういえば、ひいばあちゃんはピアノが弾けてコーラスも習っている。歴史上の人物も沢山言えて頭も良い。自転車に

も乗れるし、ぼくをバスに乗せて遠くに連れだしてくれる。学校の行事にも来てくれるし、美味しいご飯を作ってくれる。骨折をしても完治するのが早いし、とても健康だ。いつもニコニコしていて、本当に最強ばあちゃんだなあ。

そんな、ひいばあちゃんでも、辛いことがあった。広島原爆を経験している。広島で生まれ育ったひいばあちゃん。ぼくは、何度も何度もその時の経験を聞いた。その話をしている時のひいばあちゃんは、いつものニコニコ笑顔ではなく、すごく辛そうだ。でも聞いとかなないといけない。聞かなればいけない。ぼく達、子供にはその責任がある。ひいばあちゃんが、辛い辛い過去から生き抜いてくれて、本当に本当に良かった。当たり前だけど、ひいおばあちゃんがいなければ、ぼくもここにはいない。命がある。それだけでも奇跡であり、やっぱりヒーローだなあ。

何が何でも味方をしてくれる、ひいばあちゃん。何が何でも守ってくれる、ひいばあちゃん。いっぱい甘やかしてくれる、ひいばあちゃん。そんな、ひいばあちゃんが八月に八十八才になり、米寿を迎えた。次の卒寿も家族みんなでお祝いさせてね。いつも、いっぱいいっぱいありがとう。